

B & G 海洋クラブ登録申請書 兼 誓約書

2018年 月 日

公益財団法人
ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
会長 前田 康吉 殿

申請団体名

代表者氏名

印

住所又は所在地

B & G 海洋クラブ登録を以下のとおり申請いたします。

- 活動時には常に安全に配慮し、万一事故が生じた場合、貴財団に対してはご迷惑をおかけいたしません。
- 活動器材は、適切な管理のもと、安全な状態で保管し、保管場所の建物等に海洋クラブの看板を掲示します。
- 手引きや無償貸与契約書の内容に反した場合には、活動器材の返却や財団が配備に要した費用の弁償を行います。
- 提供した情報は、財団の情報発信等に使用することを承諾します。

海洋クラブ明細書

<p>「Change」、「Challenge」宣言 クラブ登録後、Change したいこと、 Challenge したいことを記入</p>		<p>Change : 登録前 _____ 登録後 _____ Challenge : _____ にチャレンジします</p>
<p>所在地、連絡先</p>		<p>電話番号</p>
<p>活動 水面</p>	<p>名称</p>	
	<p>所在地</p>	
	<p>所有者または管理者</p>	
	<p>水質</p>	
	<p>水際状況</p>	
	<p>法令等の規制</p>	
<p>活動 器材 保管 場所</p>	<p>名称</p>	
	<p>所在地</p>	
	<p>土地 : 所有者または管理者 建物 : 所有者または管理者</p>	<p>土地 : _____ 建物 : _____</p>
	<p>建物状況、年間賃貸料</p>	<p>年間賃貸料 _____ 円</p>
	<p>水面との距離、建物床面積</p>	<p>概ね _____ m 床面積 _____ m²</p>
<p>クラブ員数</p>	<p>少年 _____ 成人 男 _____ 少女 _____ 女 _____ 合計 _____ 人</p>	
<p>指導者数</p>	<p>_____ 人</p>	
<p>年間活動規模 ※指導者・スタッフ・ボランティアも 含める</p>	<p>クラブ全体年間 内訳 : 水辺での活動 活動人数 : _____ 人 活動人数 : _____ 人 活動日数 : _____ 日 活動日数 : _____ 日</p>	

B & G 海洋クラブ登録申請理由書

今回 B & G 海洋クラブへ申請する理由

具体的に記載してください。

クラブ登録となった場合どのような活動を行いたいのか、実施予定の新規事業は何か B&G 財団とどのような関わりをもって、発展をしていきたいか

登録後の活動（新規事業など）

登録後の関わり

申請器材事業計画書

クラブ登録後に実施を計画している事業と申請器材をすべて記載してください。

◆申請器材

申請器材	器材名	数量	器材名	数量

※審査結果によっては、器材の変更や数量が減少する場合がございます。

※事業計画を実施するために必要な器材を申請してください。

◆申請器材を活用した事業計画

申請器材を活用した事業計画	
事業名	
活用器材	
目的	
背景	
実施形態	次のうち一つ以上○をつけてください 新規事業、既存事業（回数拡大、対象者拡大、人数規模拡大）、その他
実施時期	
対象者	
目標人数	
事業内容	具体的かつ定量的、定性的に記載してください

※必要に応じて、ページをコピーして記入してください。

指導者名簿

活動を指導する指導者を記載してください。

NO	氏名	年齢	性別	保有資格 (B&G 登録番号)	指導歴・指導経験
1			男・女		
2			男・女		
3			男・女		
4			男・女		
5			男・女		
6			男・女		
7			男・女		
8			男・女		
9			男・女		
10			男・女		

※必要に応じて、ページをコピーして記入してください。

2018年度 年間活動計画書（2018年4月1日～2019年3月31日）

重要 水辺での活動を行う人数には※印をつけ、新規に行う事業や活動には下線を引いてください。

月	活動内容	活動日数	活動人数	合計人数	詳細
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
	合計	日	人	人	

2017年度 年間活動実績報告書（2017年4月1日～2018年3月31日）

重要 水辺での活動を行う人数には※印をつけてください。

月	活動内容	活動日数	活動人数	合計人数	詳細
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
	合計	日	人	人	

※新規に活動を行う団体は、活動計画書のみ記載してください。

2018年度 収支予算書（2018年4月1日～2019年3月31日）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
		当期剰余金	
合計		合計	

2017年度 収支決算書（2017年4月1日～2018年3月31日）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
		当期剰余金	
合計		合計	

※新規に活動を行う団体は、収支予算書のみ記載してください。

活動に関する調査票

2017年4月1日～2018年3月31日までの実績で回答してください。
海洋クラブ登録に関して、以下の調査項目に該当する箇所に○をつけてください。

1. 活動内容（当てはまる活動すべてに○をつけてください。）

- ①ヨット ②カヌー ③SUP ④その他水上スポーツ ⑤磯観察など
水辺の環境学習 ⑥環境保全活動 ⑦ビーチスポーツ ⑧植樹 ⑨水泳
⑩陸上トレーニング ⑪キャンプ ⑫川遊び ⑬海水浴
⑭その他（ ）

2. 活動詳細（当てはまる種目すべてに○をつけ、詳細を記載してください。）

※活動内容が審査対象となります。わかりやすく記載してください。

※チラシや実施要項などがあればご提出ください。

- ①学校や教育委員会と連携（後援、協力、委託など）したマリンスポーツの実施
実施した回数 _____ 回
実施した内容（ ）

- ②インクルーシブな活動（障害者も健常者とともに参加できる活動）
実施した回数 _____ 回
実施した内容（ ）

- ③マスコミを通じた活動のPR
合わせて掲載新聞記事や放映されたテレビ映像をお送りください。
マスコミに取り上げられた回数 _____ 回
掲載新聞、媒体名（ ）
掲載事業名（ ）

※掲載新聞記事や放映されたテレビ映像があればお送りください。

3. 本申請をどこでお知りになりましたか？（当てはまるものに○をつけてください）

- ①紹介（紹介者名 _____ ） ②財団HP ③財団メールマガジン
④財団以外のサイト（サイト名 _____ ） ⑤新聞記事
⑥その他（内容 _____ ）

保有活動器材一覧表

申請時点の状況

器材名	保有器材数量	特記事項
救助艇		<input type="checkbox"/> ゴムボート艇 <input type="checkbox"/> FRP艇 <input type="checkbox"/> その他
船外機		<input type="checkbox"/> 5馬力、 <input type="checkbox"/> 9.8馬力 <input type="checkbox"/> 9.9馬力、 <input type="checkbox"/> その他
ライフジャケット		<input type="checkbox"/> 国交省型式認証
ライフジャケット		<input type="checkbox"/> 国交省型式認証以外

2017年度 PR事業報告書

事業名：

目的：

日時：2017年〇月〇日（土）〇時～〇時〇分

場所：

参加者：大人〇名、子供〇名

スタッフ：〇名

参加者の反応：

PRポイント：

マスコミ取材：あり（〇〇新聞、〇〇テレビ）

写真（事業の様子がわかるものを4枚程度添付してください）

写真

写真

写真

写真

【公共施設指定管理者の提出資料】

指定管理者が変更になった場合でも
海洋クラブの継続が担保されることを確認するために
仕様書などの根拠資料を求める

仕様書の内容例

●●施設

指定管理者業務仕様書（申請にあたっての関係箇所抜粋）

第1 ●●施設の設置目的

<抜粋>

第4 指定管理者が行う業務範囲

1 施設の運営に関する業務

（3）企画事業

指定管理者は、艇庫施設や体育館等の施設の特性を生かしたスポーツ企画事業を実施してください。なお、実施に当たっては、次の点に留意願います。

<抜粋>

B 特に、マリンスポーツの振興に重点を置いた事業計画であること。

C 従来と同等レベルの内容・回数等の維持に努めること。

例では、指定管理者が変更となった場合でも、
活動レベルの維持が担保される仕様書となっており、
海洋クラブの活動継続が見込まれると判断する。

指定管理者の仕様書などから、指定管理者の活動の継続が担保されていることなどがわかる文書が必要。

【参考見本】

2018年度 年間活動計画書（2018年4月1日～2019年3月31日）

重要 海洋性レクリエーションの人数には※印をつけ、新規に行う事業や活動には下線を引いてください。

月	活動内容	活動日数	活動人数	合計人数	詳細
4	総会	1	30人	30人	決算・予算役員総会、新規メンバー歓迎会
5	陸上トレーニング	2	20人	40人	ランニング、筋力トレーニング
6	※ <u>クリーン活動</u>	1	30人	30人	清掃活動、水辺の安全教室、ヨット
	※カヌー	3	30人	90人	
7	※ <u>水辺の安全教室</u>	1	100人	100人	一般募集してSUP体験会と水辺の安全教室を実施 地域の小学校プールでカヌー体験と水辺の安全教室を実施
	※ <u>小学校カヌー出前教室</u>	4	20人	80人	
	※カヌー	2	25人	50人	
8	※カヌー	2	30人	60人	B&G●●海洋クラブの活動地○○で合同で活動（シュノーケル、流しそうめん）
	※ <u>B&G●●海洋クラブとの交流</u>	1	26人	26人	
9	※カヌー	2	28人	56人	
10	※カヌー	1	20人	20人	ランニング、筋力トレーニング
	陸上トレーニング	2	27人	54人	
	バーベキュー	1	20人	20人	
11	<u>B&Gチャレンジ</u>	2	50人	100人	11月B&Gチャレンジ
12	陸上トレーニング	1	23人	23人	ランニング、筋力トレーニング 12月B&Gチャレンジ、プレゼント交換
	クリスマス会	1	30人	30人	
1	陸上トレーニング	1	20人	20人	ランニング、筋力トレーニング
	餅つき大会	1	28人	28人	
2	陸上トレーニング	1	25人	25人	ランニング、筋力トレーニング
3	陸上トレーニング	1	23人	23人	
	合計	31日		905人	

【参考見本】

2017年度 PR事業報告書

事業名：水辺の安全教室

目的：地域住民にSUP体験とライフジャケット浮遊体験をしてもらい、マリンスポーツの楽しさと水辺での安全について学んでもらい、自助意識を高めてもらう。

日時：2017年7月17日（祝月）9時00分～15時00分

場所：虎ノ門海岸

参加者：大人20名、子供80名

スタッフ：10名

参加者の反応：初めてSUPを体験する子供が多かったが、10分もすると上手にこげるようになり、またやってみたいという声があった。また、ライフジャケットの浮力に驚いていた。

PRポイント：地元の水辺を活用して、普段は海洋性スポーツをしない人にも地元の良さを再発見してもらう機会となったと感じた。またSUPをやってみたいという子供も多くいたので、海洋クラブへの入会をすすめたところ、5名が加入することになった。

マスコミ取材：あり（〇〇新聞、△△テレビ）

写真（事業の様子がわかるものを4枚程度添付してください）

